HONDA

News Release

2026 年 11 月 13 日

大型スポーツツアラー「CB1000GT」を発売

Honda は、水冷・DOHC・直列 4 気筒・999cm³ エンジンを搭載した、大型スポーツツアラー「CB1000GT」を 12 月 3 日（木）に Honda Dream より発売します。

●スーパースポーツをベースとした高い動力性能を活かしながら、長距離走行時のライダーおよびパッセンジャーの疲労低減と快適性に配慮した専用セッティングのエンジン
●前後重量配分やライディングポジション、各ディメンションを最適化し、より幅広いシーンでの操りやすさを追求した車体
●走行中の車両の状態および車速に応じて瞬時に減衰力を最適化する電子制御サスペンション EERA（Electronically Equipped Ride Adjustment）を採用
●ロングツーリングでの快適性に寄与するクルーズコントロールを標準装備



CB1000GT（グランプリレッド）



CB1000GT（グラファイトブラック）

CB1000GT は、「High Performance Tourer 速く、遠くまで快適に」を開発コンセプトに、スポーツネイキッドの軽快性や操る楽しさ、ツアラーの快適性や積載性、そしてスーパースポーツのエンジンフィールや動力性能など、多くの要素を 1 台にまとめあげたスポーツツアラーです。大排気量バイクの性能を発揮させて走る充実感を大切にしながら、今まで知らなかった景色や空気を求めて、より遠くの地へといざなうライディング体験の喜びを拡大させるモデルを目指しました。

●販売計画台数（国内・年間）　**シリーズ合計　500 台**

●メーカー希望小売価格（消費税 10%込み）　**1,903,000 円（消費税抜き本体価格 1,730,000 円）**

＊ 価格（リサイクル費用を含む）には保険料・税金（消費税を除く）・登録などに伴う諸費用は含まれておりません

お客様からのお問い合わせは、「お客様相談センター（https://www.honda.co.jp/customer/）」へお願い致します。

＝主な特徴＝

■パワーユニット

スーパースポーツモデルのエンジンをベースに、専用の PGM-FI セッティングとスロットルバイワイヤシステム（TBW）のプログラムを採用し、スロットルの開け始めの出力をより滑らかにすることで長距離走行時のライダーおよびパッセンジャーの疲労低減と快適性に寄与しています。

■車体

CB1000 HORNET のフレームをベースとすることで優れた運動性能を確保するとともに、シートレールのアッパーパイプ延長、クロスパイプ追加、クロスプレートの形状を変更するなど最適化を図り、ライダーのみならずパッセンジャー乗車時や荷物積載時の安定感と振動抑制に寄与しています。

また、専用のアルミダイキャスト製リアグリップを装備し、パッセンジャーの快適性向上を図っています。

サスペンションは、幅広いシチュエーションや積載状況に備え、電子制御サスペンション EERA（Electronically Equipped Ride Adjustment）を採用。IMU などから車両の走行状況を把握し前後サスペンションの減衰力を最適化することで、路面状況に適した減衰力自動調整を可能としています。これにより幅広い走行シチュエーションでライダーの操る楽しみと快適な乗り心地に寄与しています。減衰特性はライディングモード※1 とリンクし、走行シーンに合わせた 4 モードと、ライダーの好みに応じて設定できるモードが選択できます。リアサスペンションは、電動プリロードアジャスターを採用し、乗員数や積載状況に応じてハンドルに配したスイッチでプリロード調整が可能です。

ブレーキは、フロントにフローティングダブルディスクと NISSIN（Astemo 株式会社）製対向 4 ポットラジアルマウントキャリパーを、リアにシングルディスクと NISSIN 製 1 ポットキャリパーを採用。また、6 軸 IMU を採用することで、より正確なピッチング、ロール、ヨーの車体姿勢検知を可能とし、TBW や、コーナリング ABS などの制御技術の精度を高めることに寄与しています。

■エアロダイナミクス

CFD（Computational Fluid Dynamics=流体解析）により、フロントまわりのボリュームをシャープな造形でまとめながらも、ニュートラルなハンドリング特性と快適なウインドプロテクションを目指しました。また、走行シーンやライダーの好みに応じて手動で 5 段階に調整できるアジャスタブルスクリーンを採用し、快適性向上に寄与しています。

■その他の装備

豊富な情報を見やすく表示する 5 インチフルカラーTFT 液晶メーターを採用。車両とスマートフォンを連携※2 させることで、ハンドルのセレクトスイッチや別売りのヘッドセットでの音声入力が可能となり、音楽再生やナビゲーションなどアプリの操作ができる Honda RoadSync を標準装備しています。また、高速道路などでの長距離走行時の快適性に寄与するクルーズコントロールや、Honda SMART Key システム、オートキャンセルウインカーなど各種先進装備を採用。さらに ETC、ナックルガード、グリップヒーター、クイックシフターを標準装備とすることで、快適性に寄与しています。

■サステナブルマテリアルの適用

Honda は、環境負荷ゼロ社会の実現に向けて、2050 年のサステナブルマテリアル率 100%を目指しています。CB1000GT では、自動車や家電などの製造過程や成形過程において発生する余分な樹脂をリサイクル材としてシート底板に使用することで省資源化を図るとともに、ウインドスクリーンには環境に優しいバイオエンジニアリングプラスチック「DURABIO™※3」を使用しています。

■カラーリング

カラーリングは、鮮烈な色合いで存在感を放つ「グランプリレッド」と、精悍で落ち着いた印象の「グラファイトブラック」の 2 色設定としています。

※1 パワー（P）、エンジンブレーキ（EB）、HSTC／ウィリーコントロール（T）、減衰力（S）の制御レベルを組み合わせた、「SPORT」「STANDARD」「TOUR」「RAIN」に加え、任意の制御レベルを選択保存可能な「USER」の各モードを採用

※2 運転中のスマートフォン本体の操作はおやめください。Honda RoadSync のご利用には専用アプリのインストールが必要です。アプリごとにそれぞれご利用いただけるコンテンツが異なります。Honda RoadSync の機能に関する詳細および対応 OS バージョン、対応アプリについては、
Honda RoadSync 関連ホームページ（https://global.honda/jp/tech/Honda_RoadSync/）
またはスマートフォンアプリご案内ページ（https://global.honda/en/voice-control-system/ja-top.html）をご覧ください

※3 DURABIO™は三菱ケミカル株式会社の登録商標です

主 要 諸 元

通称名		CB1000GT
車名・型式		ホンダ・8BL-SC93
全長×全幅×全高	(mm)	2,135×930×1,290
軸距	(mm)	1,465
最低地上高	(mm)★	136
シート高	(mm)★	825
車両重量	(kg)	229
乗車定員	(人)	2
燃料消費率※4（km/L）	国土交通省届出値 定地燃費値※5(km/h)	24.5（60）＜2 名乗車時＞
	WMTC モード値★ (クラス)※6	16.5（クラス 3-2）＜1 名乗車時＞
最小回転半径	(m)	3.2
エンジン型式・種類		SC93E・水冷 4 ストローク DOHC4 バルブ 直列 4 気筒
総排気量	(cm^3)	999
内径×行程	(mm)	76.0×55.1
圧縮比	★	11.7
最高出力	(kW[PS]/rpm)	110[150]/11,000
最大トルク	(N・m[kgf・m]/rpm)	102[10.4]/8,750
燃料供給装置形式		電子式＜電子制御燃料噴射装置（PGM-FI）＞
使用燃料種類		無鉛プレミアムガソリン
始動方式	★	セルフ式
点火装置形式	★	フルトランジスタ式バッテリー点火
潤滑方式	★	圧送飛沫併用式
燃料タンク容量	(L)	21
クラッチ形式	★	湿式多板コイルスプリング式
変速機形式		常時噛合式 6 段リターン
変速比	1 速	2.285
	2 速	1.777
	3 速	1.500
	4 速	1.333
	5 速	1.137
	6 速	0.967
減速比	(1 次★／2 次)	1.717/3.000
キャスター角（度）★／トレール量（mm）★		25° 00 ′ /106
タイヤ	前	120/70ZR17M/C (58W)
	後	180/55ZR17M/C (73W)
ブレーキ形式	前	油圧式ダブルディスク
	後	油圧式ディスク
懸架方式	前	テレスコピック式 （倒立サス）
	後	スイングアーム式 （プロリンク）
フレーム形式		ダイヤモンド

■道路運送車両法による型式指定申請書数値（★の項目は Honda 公表諸元）　■製造事業者／本田技研工業株式会社

※4 燃料消費率は定められた試験条件のもとでの値です。お客様の使用環境（気象、渋滞など）や運転方法、車両状態（装備、仕様）や整備状態などの諸条件により異なります

※5 定地燃費値は、車速一定で走行した実測にもとづいた燃料消費率です

※6 WMTC モード値は、発進、加速、停止などを含んだ国際基準となっている走行モードで測定された排出ガス試験結果にもとづいた計算値です。走行モードのクラスは排気量と最高速度によって分類されます